

# いにし

2014年5月

第90号

あざい  
リハビリテーション  
クリニック  
長浜市野瀬町828番地  
TEL0749(76)8111  
平成26年4月15日発行

## 皆様ありがとうございました

### あいち診療会 あざいから撤退

あいち診療会はあざいリハビリテーションクリニックの経営から平成27年3月をもって撤退することにいたしました。平成15年4月に小林医師の後を引き継いで東診療所で診療を始めてから10年、地域の方にとってどんな医療が求められる医療なのかを考えながら試行錯誤の繰り返しでしたが、何とかここまでやってこられたのは皆様に支えられたおかげです。

### 撤退までの経緯

医療法人あいち診療会がこのあざいリハビリテーションクリニックを開設

したのは、故角川元町長からの要請を受けたことに寄ります。

「浅井町の中で最北端である上草野に、あなた方のような24時間体制で在宅医療に取り組み、デイケア、ショートステイなども担ってくれる医療機関を誘致し、上草野を医療・福祉の先進地域にしたい」という要望でした。私はもともとへき地での医療に携わりたいとの夢を描いていたこともあり、名古屋に余剰人員がいるわけでもないのにこのクリニックの運営を引き受けることになりました。それも理想的な地域医療の形をモデルとして作るチャンスと考えたからです。

名古屋からこの地に定住する医師の確保はままならず、結果として理事長の畑が週のうち5日間この地に暮らす

生活が始まりました。

町役場に出かけたり、買い物をしたりする皆様の為にバスの運行、送迎付きでの筋トレ教室、歯科診療所、眼科外来などはすべて初めから赤字になることがはつきりしていた事業です。しかし「過疎地の住民は何でもできる医師一人にいてほしいのではなく、本当

は近くに総合病院があつたらいいと思っている。」との考えから総合病院とは言わずとも様々な科のある診療所を提案したいと考えました。これは浅井町と一体になれば必ずしも実現困難な話ではありませんでした。私たちは設備投資を自前の資金で行いました

が、設備投資を行政が負担し、公立病院の専門医が週に1日地域を回れば、4か所の診療所で月に1回は専門医が外来を開くことが出来ます。この方法であれば民間でも複数化の外来運営が可能になります。

危惧したことは市町村合併が進む社会情勢の中で、浅井町も合併してしまういい大きな行政単位になってしまうの

ではないかと言うことでした。合併はしないとの言葉を受けてこの地に来たのですが、世の中の流れには逆らえなかつたようです。

### 浅井町から長浜市に

しかし当初から危惧した通り長浜市との合併の話が本決まりになり浅井町は長浜市になり、市長も別の方になる結果になりました。

長浜市とは、平成22年5月に地元の議員様の仲介で市長と面会させていただき、このような思いを伝え、市としての意向を伺いましたが、長浜市として医療法人を応援することは出来ないから医療法人の身の丈に合った事業をするようにとの回答でした。

この状況で、この地域を理想的な医療福祉地域にするという夢は実現できないと判断し、ましたが、一度始めたサービスを切り捨てることが出来ず

(裏面へ続く)

## 5月の外来案内

### 内科・小児科外来

畑 Dr, 松井 Dr, 宮地 Dr

	午前 9時～12時	午後 15時～18時
月	○	○
火	○	○
水	○	
木	○	○
金	○	○
土	○	
日		

※ 理事長畑の診療日は  
金曜日午後と土曜日午前です。

休診日：水曜日午後、土曜日午後、  
日曜日及び祝祭日

### 歯科外来 (予約制)

時田 Dr

診療時間は内科と同じです。

※ 初診・急患は随時受け付けます。

### 皮膚科外来

小路 Dr

毎週木曜日午後 15:00～18:00

### 眼科外来 (予約制)

高橋 Dr

5月17日(土) 9:30～12:00

### 整形外科外来 (予約制)

丹羽 Dr

5月27日(火) 9:00～12:00

5月28日(水) 9:00～12:00

※変更の可能性もあります

## 編集後記

先日、学校医として卒業生として上草野小学校の閉校式に参加してきました。最後の校歌を斉唱し万感の思いでした。雪解け水で流れを増す草野川。その堤防には桜や菜の花などの花々の彩りに溢れています。春だけでも豊かな自然の上草野。その四季折々を感じられる学び舎は最高の環境でした。

さてこの度、畑理事長よりあいち診療会の撤退の発表がありました。思い出せば、私が畑先生に出会ったのが丁度10年前でした。これから上草野・浅井町で医療と福祉の挑戦をするという畑先生のお話に大変有難い思いでした。そしてこの二年、あいち診療会の皆さんがこの地域の医療と福祉を守って来て下さったことは住民として本当に感謝の気持ちでいっぱいです。いくつかのハードルがありますが、皆さんのご支援を頂きつつ一つひとつ乗り越え、この診療所を今度は院長として守り育てていきたいと思っています。(松井)

☆「日日草」購読ご希望の方へ、郵送料を  
ご負担頂けば、郵送させていただきます。

題字：角川誠様

(表面より)

に、少しずつ縮小しながら今日に至りました。名古屋での医師の退職に伴い2年前からは北海道家庭医療学センターから松井院長、宮地副院長の派遣を得て何とか事業を続けてきました。が、今後のめどが立たないままいつまでも赤字を覚悟での事業の継続は困難であり当法人に残された選択は、赤字部門をすべて切り離し診療部門だけ残して経営を続けるか、撤退するかに狭まってきました。地元自治体との協同なしにモデルとなるような僻地の医療システムの構築は困難であり、地元の皆様には大変申し訳ありませんが、「受け手になった時に安心できる医療シス

テムの構築」という目標に向けて、モデルとなる取り組みをすることを基本姿勢とする当法人として、事業継続は困難と判断し、昨年長浜市に対して撤退の意思表示をさせていただきました。長浜市には何の未練もありませんが旧浅井町の皆様の期待に応えることができないまま去ることは慚愧に堪えないものを感じます。この地域を以前のような無医地区に等しい状態にすることだけは避けたいと考え、現在撤退後の医療の継続に対して各方面と調整を行っています。最終的には、長浜市がどのような条件で施設の利用を認めるかにかかっています。



医療法人あいち診療会  
理事長 畑 恒士